

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

|         |               |            |            |
|---------|---------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 2292300189    |            |            |
| 法人名     | 医療法人財団百葉の会    |            |            |
| 事業所名    | グループホーム花ごころも  |            |            |
| 所在地     | 静岡県富士市岩本232-2 |            |            |
| 自己評価作成日 | 令和5年8月14日     | 評価結果市町村受理日 | 令和5年10月17日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JiyouyoCd=2292300189-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JiyouyoCd=2292300189-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a> |
|----------|---|

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

|       |                       |  |  |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室   |  |  |
| 所在地   | 静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A |  |  |
| 訪問調査日 | 令和5年8月31日             |  |  |

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

「自らが受けたいと思う医療と福祉の創造」を湖山医療福祉グループの理念とし、お客様とご家族様の思いに寄り添ったケアとお客様のペースを大切に穏やかに過ごしていただけるよう努めております。医療面では近隣のこもれびクリニックが主治医であり訪問診療時に指示やアドバイスをいただき対応しております。非常時には夜間、早朝を問わず往診くださり大変心強く思っております。まだ20代の若いリーダーが自分より年齢の高い職員を声をかけまとめることができおり退職者もなく、まもなく産休に入る職員1名、65歳を超える職員1名に対し、体調面、業務面を他職員が気遣い、自然に助けあえるよいチームとなりお客様を支援しております

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

運営推進会議はコロナ禍で集会開催ができにくいなか、メンバーには写真を送るなどして連携に努めていますが、周辺は夫婦揃って勤務で日中は不在といった家庭が多く、思うように地域交流が進まないことを課題としています。それでも長年培った法人理念が職員一人ひとりに浸透、退職者もほとんどなく内部は安定しています。その信頼もあってのことか、2ユニットが増築される見込みです。その工事で近隣に迷惑となることがないように配慮しつつ、またコロナ禍では救急車の出入りも重なったことから、タオルや食器洗い洗剤を携えての挨拶廻りを通じて地域への認知をあらためて図っており、事業所の真摯な態勢をここでも示しています

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |    |   |                       |   |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |   |
|--------------------|-----|---|--|--|---|
|                    |     |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容                                   |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |  |  |   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 湖山医療福祉グループ理念・行動指針・こやまケア行動方針を常に頭に置いて業務を行っています。  | 理念をはじめ行動指針は掲示され、核となる「寄り添うケア」「すみやかな対応」は職員の言動に浸透しています。それでも事例があればリーダーの説明があり、再確認にも余念がありません     |   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 地区のお祭りに参加したり、事業所のお祭りに地域の方を招いたり、昔ながらの馴染みのある隣組のような関係を築きたいと思いますが行事も少なく交流の機会は多くありません。            | 来春始動予定のユニット増築では近隣に迷惑となることがないように配慮しつつ、またコロナ禍では救急車の出入りも重なったことから、タオルや食器洗い洗剤を携えての挨拶廻りをおこなっています |   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 地域の方々の意見を聞いて理解して頂けるように取り組みをしていきたいと思っていますが進んでおりません。地域の高齢者の方にご利用いただけるよう富士市より採択され来年3ユニットに増床します。 |  |   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 多くの意見をもらえるようにアンケートをとり展開をしています。ご家族様より防災について知りたいと意見をいただき説明、それを受け避難確保計画を改訂、提出しました。              | 運営推進会議では民生委員の出席は叶っていますが、区長は「難しい」とのことで、事業所を応援くださるメンバー構成には課題が残りますが、隔月開催の運営は欠かさず積み重ねています      | 地域の介護支援事業所、自主防、また法人内の管理者とのバーター参加など、メンバーを広く募るよう期待します |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 運営推進会議に参加して頂き、意見を伺っています。新規事業では富士市担当者より丁寧なご指導をいただき感謝しております。                                   | 市役所と地域包括支援センターは運営推進会議に交替で参加くださるほか、何かあれば親身な対応があります。来期に向け、2ユニット増やすことについては特に丁寧な指導を得ています       |   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束ゼロを継続しており玄関も夜間以外は施錠しておりません。日々の業務の中で拘束については常に身体拘束ゼロを念頭に置き、迅速に代替策を講じ対応しています。               | 理念とこやまケア行動方針を基盤とする職員には虐待や身体拘束は無縁なもの、国の推進する四半期毎の委員会開催、年2回以上の職員研修、新人職員の研修を洩れなく実施しています        |   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 高齢者虐待法を遵守し取り組み実践しています。日常ケアの中で傷や身体変化がないよう日々確認を行っています。   |  |   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|-----|--|--|---|-------------------|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 制度の理解を深め、有効活用できるようにしたいが活用はできておりません。  |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 管理者より契約書、重要事項説明書、利用におけるリスクの説明を行い、納得いただいてから契約を行っています。                                   |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | ご家族に運営推進会議への参加をお願いし、情報収集を図っていますが運営推進会議への参加者は増えておりません。ご意見箱を設置していますがご意見は頂戴しておりません。       | 面会訪問が年1回程度とか、折り返しの電話連絡がないといった家族もいて、関わり方が難しい昨今ですが、毎月写真入りの便りを送り、本人の様子を届けるようにしています |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 法人統一でアンケートを実施しています。回収率を上げるために方法を検討したり、法人への直接回答で率直な意見が聞けるようにしています。意見には対応策を検討し取り組んでいきます。 | 遅番の時間を30分早めることは、職員意見から改良した事です。職員がばたつく時間帯に穏やかさが生れ、入浴介助がスムーズとなるなど効果がでています         |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 面談の実施、法人で職場環境、条件について常に協議しており残業の削減、ワークライフバランスがとれ働きやすい職場を目指しています。                        |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 研修や勉強会を行い、知識や技術の向上に努めています。本年度は法人内の介護部門研修の講師を務める職員がいる他、中途採用者研修、実践者研修、実践リーダー研修への参加をします。  |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 連絡会を通して、情報収集や共有を図っていますがコロナ禍であり管理者によるZOOMでの協議のみであり本年度は交流会も未定となっております。                   |   |                   |

| 自己                          | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|-----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
|                             |     |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |   |                   |
| 15                          |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前のカンファレンスで、本人様のお気持ちとケアについて、職員間で共有しています。ご本人様と同じ目線・立場に立って気持ちを考える事を大事にしています。                            |   |                   |
| 16                          |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 施設見学時やご利用申し込み時には、ご家族様のお話を丁寧にお聴きし、不安や悩みについてお答えしています。また、面会時や電話等で、小まめに本人様の様子を伝えていきます。                     |   |                   |
| 17                          |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 本人様の出来る事・出来ない事の把握、また行いたい事の把握をし、サービス提供をしています。直近で老健から入所された方は妹様が面会時に「ここに来てよかった。いい顔をしています。」と喜んでくださいました。    |   |                   |
| 18                          |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 今まで行ってきた家事や生活習慣を大事にできるお手伝いは積極的に行っていただいています。お客様同士の相性も考え、座席の位置やお話の間に入らせて頂くなど生活しやすいよう配慮しています。             |   |                   |
| 19                          |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 職員からの近況報告をご家族様から思い出話を伺い、支援に生かしています。ご主人がよく電話をかけてくださる方がいらっしやり自転車やタクシーで突然面会にこられますがお声やご様子を御覧になりとても安心されています |   |                   |
| 20                          | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 年賀状はご本人様と誰に出すのか相談しながら送らせて頂いております。ご本人様に、メッセージや名前を書いて頂ける様、声掛け・支援しております。                                  | すぐ近くに田んぼがある利用者があり、職員が「家族の農作の様子を見せてあげたい」と散歩に連れ出しています。また母の日にはほぼ全家族から花が届き、事業所が華やいだ日もあります |                   |
| 21                          |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 席の配置やお話の内容、表情の変化等を気にして関わっています。他者とのコミュニケーションが難しいお客様には、職員が介入しお話ができる様にしております。                             |   |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                     | 入院や死去等で契約が終了したとしても、相談がいつでもできる環境作りを行っています。ご家族様にもそのことを伝えております。   |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | その人らしい生活ができるよう、起床時間や日中の過ごす場所等、出来るだけ、ご本人様の希望に沿えるよう努めています。また、表情や様子からご本人様の立場に立った声掛けをさせて頂いております。         | 「孫の結婚写真を眺めてにっこり」等の個別支援にいそしみつつ、花火やカフェタイムといった集団レクにも力を入れています。皆で共有しているのは「おさるのジョージ」で、ユニットアイドルとなっています |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご利用前に、アセスメントシート・インタビューを元に職員間で話し合いや回覧を行っています。本年度の実践者研修参加者は課題をケアに反映したいと考え取り組んでいます。                     |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 一日の過ごし方が、出来るだけ、ご本人様の希望に沿えるようにしています。心身状態や、ADLについては、朝・夕の申し送りと業務日誌、ホワイトボード、ラインワークス等を活用しながら、情報共有に努めています。 |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 計画作成担当者がご本人様のご様子やお言葉、ご家族様、職員の意見をきき作成しています。   | 生活介護中心であった介護計画書に「情緒面のニーズと目標を」と取組み、歌唱や会話、家事など本人の個別性を鑑みた内容を増やしており、「その方のプラン」との意識も更に高まるに至っています      |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 経過記録は、出来事がないと同じような記述になってしまうことを反省し、お言葉やご様子など、どうであったか、がわかるように記録することに努めています。                            |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | ご本人様の状況に合わせて、お散歩、お昼寝等、個別の対応を行っています。訪問マッサージ、訪問美容等との連携も図っています。ご家族様が遠方の方は同行が難しく受診後は速やかに報告を行っています。       |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |   |
|----|------|---|---|--|---|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容                             |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 慰問に来てもらうなど交流を図っていましたがここ数年は残念ながら行えていません。田んぼで仕事をされるご主人に天気がよければ会いにいきおいしい野菜をいただき食事に使わせていただいております。                       |  |   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | ご利用時に納得を頂いたうえで、かかりつけ医について説明をさせて頂いております。初回訪問診療前に受診していただきスムーズな支援となっています。  | 高齢化とコロナ禍が影響してここ1年は救急車の出入りが頻繁で職員も疲労困憊状態となっていました。協力医の真摯な関わりが光明となり、何とか乗り越えることができています                                  |   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 体調の不良がみられた際は訪問看護ステーションに連絡、指示をもらい対応しています。先日は夜間でしたが訪看から主治医に連絡、主治医の指示により訪看が来所、その後主治医も往診にきてくださいました。                     |  |   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | お客様に変化が出たとき等は訪看、主治医と連携を図ります。入院になった際には職員も同行、病院関係者と連携をとり、帰設後の対応についても整えています。   |  |   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 緊急時や、サービ担当会議等で、ご家族様その時のお気持ちを伺っております。事業所として出来る限り希望に沿えるよう努めています。100歳の夫と過ごさせたいとご家族様が介護休暇をとり最期の数日をご自宅で過ごされた方もいらっしゃいました。 | コロナ禍であっても看取りでは諸条件を満たしてもらうことで家族の出入りを受入れていきます。「お見送り後の請求書に常に同封されている便りが無いのは寂しいかと思い、これまでの写真などをいれた」とのエピソードには事業所の仁愛が伝わります |   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | マニュアル、フローにそった対応ができるように日ごろから急変、事故発生に備えていますが訓練はできておりません。  |  |   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 災害時マニュアルを作成、計画に基づき訓練をしています。地域との協力体制はまだ築けておりません。   | 年2回の定期訓練のほか近年では災害時マニュアルや水害の避難確保計画等、安全安心を高めることにも励んでいます。また補助金を活用して令和3年に購入した「止水板」も活躍しています                             | BCP計画は法人のものではありますが、地域性を鑑みた事業所単独の制作に至ることを期待します |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |   |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | こやまケアという、個別ケアについて取り組んでおり個人の尊厳を守る働きかけをしています。  | お琴が得意だった利用者が急に「弾きたい」と言うので家族に依頼して琴を持ち込んでもらい、仲間の前で演奏したとの例もあり、望みや希望をすみやかに叶えることを旨としています |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 職員主体にならないようにお客様の自己決定を大事にしています。「おにぎり食べたい」の言葉を聞き、ご自身でにぎっていただきよい笑顔がみられました。                    |   |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 天気の良い日には外に散歩に出掛けたりとその時の気分で、1日をお過ごしして頂いています。  |   |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | お客様は着たいもの、身につけたいものを職員と一緒に決めたり、支援をさせて頂いています。また、衣替えもご家族様に協力しながら一緒に行っています。                    |   |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | お食事のテーブル拭き等、職員と一緒に行っています。食後には下膳や食器拭きもお客様の出来ることはお願いしていますが感染拡大時には中止しておりました。調理は行っていただけておりません。 | 日常の食事は併設の小規模多機能事業所でつくっていますが、「おにぎり食べたい」との声にはおにぎりパーティーに切り替えるなど、利用者の好みや要望に応じています       |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | お食事の量、嗜好等、留意した支援、ききょうの郷の管理栄養士より月1回指導をいただいています。水分がとりにくい方には、ゼリーや味を変えたりなど、支援しています。            |   |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後、口腔ケアを行い、口腔内の清潔保持に努めています。自歯が無いお客様には液体歯磨きを使用しています。また訪問歯科があり、ご希望の方は利用されています。              |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                                |
|----|------|---|---|--|--------------------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容              |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | トイレでの排泄が出来る様、日常のカンファレンスや申し送り、会議の中で検討し、職員間で話し合い、取り組んでいます。  | 現状は日中リハビリパンツが7名、テープ止めおむつは1名、布パンツが1名です。車いす利用となっても「立位を保つことができればトイレで」と自立への支援に努めています                     |                                |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 毎日のレクリエーションの中での体操、散歩等の運動で排便を促す取り組みを行っていますが薬を服用されている方がほとんどです。水分はこまめに提供、毎日の朝食でヨーグルトをお出ししています。             |  |                                |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | その時折のお客様の様子や気分によってお誘いしています。またお好きなお湯加減、時間等、お客様の気持ちに沿った支援を行っています。   | 普段は音楽を流したり、会話が弾むよう職員が相手となってユックリゆったり入浴タイムとしており、富士山の写真を貼り出すなどの工夫もみられます。また冬至には柚子湯を提供しています               |                                |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 中々寝付けないお客様には、職員とお話したり、お茶を飲んだり眠くなるまでフロアで過ごしていただいています。のんびりとお部屋でテレビをご覧になられる方もいらっしゃいます。                     |  |                                |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 申し送りや会議、カンファレンスの中で、薬について職員間周知をしていると共に、薬情も必ず目を通します。訪問診療は訪看、薬剤師も同席、適切な服薬についてご相談させて頂いています。                 |  |                                |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 職員と共に家事等のお仕事はできることを担って頂いています。気候がよければお散歩に出掛け、気分転換を図っています。夜の床掃除を手伝ってくださる方もいらっしゃいます。                       |  |                                |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 地域の行事に参加する等、地域との関わりも大切にしておりますがしばらく外出が出来ない状況が続いています。ご遠慮いただいたご家族様との外出も、また感染者が増えているためご希望されるご家族様はいらっしゃいません。 | あまりにも暑く、外出支援は遠のいています。少し外気温が下がる時間には、近所のパン屋さんや自動販売機などへ足を延ばしています。家族も「連れ出したい」想いはありますが、感染症が心配で控えてくださっています | ふくし丸の立ち寄りをお願いできないか、打診の検討を期待します |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|--|---|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 現状、現金所持を希望されるお客様はいらっしゃいません。お買い物の際には担当職員だけではなく、なるべくご本人様と一緒に行動できるように配慮し、支援しています。                                |  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 今現在では、電話をご希望されているお客様はおりませんが、ご希望があれば、その都度支援していきます。年賀状はご自身で書いて頂けるよう、支援しています。                                    |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 清潔保持として、毎日の掃除に努め、感染予防として、一日二回(朝・夕)にハイター消毒を行なっています。また、暖房や冷房を使い、室温の調整も行なっています。クーラーの風が気になる方が多くクーラー前にタープをつけてみました。 | 設定温度は決め事に縛られず、利用者の声や肌感(触ってみて冷たい等)を優先していますが、空気が流れるよう窓を開けているため、やや低めにはなっています。またエアコンの風を遮るものを設置したところ、部屋に戻る人が格段に減っています |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | ご本人様のご希望に合わせ、お部屋にて休まれたり、思い思いの時間を過ごしていただいています。ソファでうとうとされそのままお昼寝をされたり、気の合う方と仲良くお話しされる姿はよくみられます。                 |  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 居室整備や清掃は適宜行い、ご本人様の作品や写真等を飾っております。また入居時に、慣れ親しんだものをお持ち頂いています。仏壇やお琴をお持ちの方がいらっしゃいます。                              | 居室には琴やアルバムなど、その人らしいものが持ち込まれています。車いすを利用するようになれば念のため動線を確認しますが、適度に余裕があるため家具の移動などの必要は殆どありません                         |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している   | 施設内の危険個所を把握し、安全に過ごしていただけるよう配慮しています。   |  |                   |